



(写真提供:本町1 風間源一郎氏)

# 小須戸公民館報

発行所 小須戸中央公民館  
発行人 岡謙吾  
発行日 毎月15日

## 新年あけましておめでとうございます 1996年 年頭にあって

小須戸町教育長 高橋 謙 司



### 心の対話で明るい家庭を

新しい年を迎え、町民の皆様方におかれましては益々ご健勝のことと、心からお慶び申し上げます。

#### 〈愛の心を育てる〉

いかに頭がよくて手先も器用で秀れた技術を持ち、健康で体力があったとしても、その子供に人間らしい豊かな心、愛の心が育っていないならば人間として落第であると言わざるを得ません。

平気で友だちをいじめたり、親や教師に暴言をはいたり暴力をふるったりする子など、どうしてそのような気持ちになれるのか。

その根本は、その子供の心の中に愛の心が育っていないからにほかなりません。

お友だちをいじめたら、その子はどんなに悲しみ、せつない思いをするか、そういうことを考えられる心をもっていないために起こすわけでありませぬ。

「こうすれば相手は悲しむんだな」「こうすれば喜んでくれるのだな」というような相手の心の悲しみや喜びを、「わがこと」としてわかることのできる心が必要であります。

そのような心を育てるには何が必要なのでしょう。

愛の心を育てるには、「愛の心」が必要であります。

いかに口やかましく「人を愛しなさい」とか「思いやりの心を持ちなさい」などと何百回もお説教をしたところで育つものではない。

そのためには、温かな物語や文学に接しさせることも大切であります。

切なことがあります。

それは、ふだんの家庭生活における家族の愛、近所や地域の人との愛といったものが、具体的な姿で子供の目の前に存在していなければならないということではないでしょうか。

子供はそのような生活の中で呼吸をしながら生きていくことになって、自ずとその心の中に愛の心が芽生え、育っていくものと考えられます。

また、子供は他人を愛する前にまず自分自身が愛されていることが大切で、深く愛されながら育った子供ほど人を深く愛することができるというわけになります。

とかく現代は、物質的な豊かさだけが追い求められ、そのことが子供に対する親の愛のすべてであるかのように考えられがちな世の中でもあります。

幼い時から親や家族から真の愛情を注がれることなく育った子供は、大きくなって他人を愛する喜びを知らず、社会的な不適応を起こしてしまいがちな人間に育ってしまいます。

愛されることによって、その子供は生きる喜びや力を与えられ、強い自信や気力も湧いてくるものなのであります。

親の対話はここから始まるのではないのでしょうか。

「このテストの成績は、体どうしたの？この前よりまた下がったじゃないの？」となりのAちゃんはどうだったの？」

「お前、怠けてばかりいてはダメだぞ。お父さんなんかお前のころは、毎晩おそくまで勉強をやって頑張ったもんだ。」

「少し成績が下がったようだが残念だったなあ。お父さんもお前のころに成績が下がったことがあって、ひどく悩んだことがあってね……」

だんだん親と話しながらもなっていく思春期の子供と心の通った対話をするには大変むずかしいことですが、しかし、対話の糸だけは決して切つてはならないことです。

#### 〈ありのままの姿で親も共に成長する〉

以前に、ある小学校の父母の会でアンケートをとった時のことで、

「あなたの小学生時代の成績は五段階のどのあたりでしたか」という問いに対して、「5」と回答した人が30%を越えたという話を聞いたことがありません。昔のことなので仕方ないこととして、しかし、

「お前、怠けてばかりいてはダメだぞ。お父さんなんかお前のころは、毎晩おそくまで勉強をやって頑張ったもんだ。」

「少し成績が下がったようだが残念だったなあ。お父さんもお前のころに成績が下がったことがあって、ひどく悩んだことがあってね……」

だんだん親と話しながらもなっていく思春期の子供と心の通った対話をするには大変むずかしいことですが、しかし、対話の糸だけは決して切つてはならないことです。

対話の糸さえ切れていなければ、たとえことばを交わさなくても子供の日つきを見ただけでも心の中はわかっていくのではないのでしょうか。

いた。同じ「結構」でも、よそで馳走になり「お替わりどうぞ」と言われ「結構です」の言葉でも、その場の雰囲気、態度で判断できる。電話では、それが判らない。最近、電話で商品の斡旋販売なども行われているが、約束事は紛らわしい言葉は使わず、断る時は事情を説明するなど、電話で誤解によるトラブルは避けたいと思っている。

#### ちよこつと一言 (94)

##### 「誤解」

私の知人が、電話で「うちの会社に来ないか」と誘い(引抜き)を受けた際「有難うございますが、その話、結構です」と断わったつもりでいた。相手は「結構です」の言葉で快諾を得たと解釈。話を進めた為成り行き上、断り切れず、その会社に籍を置くことになったと言つて



本町五日目 井上一作 さん

#### 公民館運営審議会

議長 村山又雄  
副議長 風間源一郎  
委員 佐藤貞夫、鈴木真夫、池田忠夫、中野一夫、中野一夫、板井昭雄、阿部幸五、森田幸二、藤田悠二、小柳元正、高木啓一、山田正一、鈴川啓一、山田正一、堀川英子

#### 謹賀新年

今年もよろしく願い申し上げます

中央公民館長 岡 謙 吾

小須戸分館長 榮森靖生 矢代分館長 平間安雄  
横水分館長 野崎迪夫 新保分館長 関根勝哉

#### 館報編集委員会

委員長 間野道英  
委員 渡辺伶満、古川治、風間満治、八木つな子

#### 図書委員会

委員長 風源一郎  
委員 内山和男、森田義昭、田山義昭、田山義昭、田山義昭

# 第二十四回 96元旦マラソン大会

## 寒風に負けず全員完走!

一月一日の当日は、雪は降らないものの、ものすごい風が吹き、選手たちは走る前から「すっげー風、さーめなあ」と話しながら、困った様子でしたが、3km・5kmのスタート時には、少し緊張しながらも号砲一発元気に飛び出して行きました。

### 〈3kmコース〉 敬称略

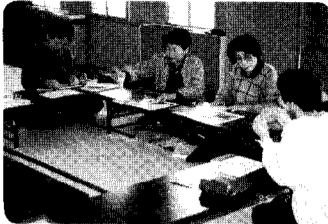
- ◆親子マラソンの部  
 子の名 親の名  
 一位 高野美穂・豊組  
 15分16秒(蔵町三)  
 二位 山本太・剛組



- ◆小学生男子の部  
 一位 北川真之 11分36秒(吉田町)  
 二位 野崎健太郎 12分10秒(横川浜)  
 三位 高野善康 12分42秒(蔵町三)  
 ◆小学生女子の部  
 一位 高野孝子 15分49秒(蔵町三)  
 二位 藤井美緒 16分19秒(ウチヨキ)  
 ◆一般女子の部  
 一位 風間和子 11分38秒(若葉町三)  
 二位 齊藤幸子 13分03秒(新津市)  
 三位 斎和宏子 14分53秒(新保一)  
 ◆中学生男子の部  
 一位 長沢友人 20分18秒(文京町一)  
 二位 武田雅弘 20分27秒(横川浜)  
 三位 阿達雅弘 20分29秒(横川浜)  
 ◆一般男子の部  
 一位 米木 勇 15分33秒(横越村)  
 二位 木村 繁 16分25秒(京ヶ瀬村)  
 三位 小林 洋 16分50秒(亀田町)



## 12月の ナイス ショット



4日 折り紙教室  
 クリスマスリースに取り組みしています。  
 「ここはしっかり折って下さい。」



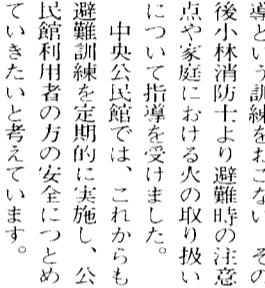
9日 親子チャレンジ教室  
 クリスマスパークーティで新聞紙を使って七変化。  
 「雪だるま、忍者、浦島太郎です。どうですか?」



20日 あすなろつ子広場  
 簡単にできるケーキづくりです。  
 「この次は、こうしてやりま〜す。」

### 中央公民館で避難訓練

十二月九日(土)中央公民館において、避難訓練を実施いたしました。  
 当日は、小林消防士立会いで親子チャレンジ教室や図書室利用者からも参加してもらいました。  
 二階ホールから出火したとの想定で非常ベルを鳴らし、消防署へ通報し、斉放送避難者誘導という訓練をおこない、その後小林消防士より避難時の注意点を家庭における火の取り扱いについて指導を受けました。  
 中央公民館では、これからも避難訓練を定期的に実施し、公民館利用者の方の安全につとめていきたいと考えています。  
 皆さん火の取り扱いには充分注意しましょうね。



してダンスも健康作りも良い。又文化協会の高橋副会長さんより、ありがたい歓迎のご挨拶をいただき、このあと恒例の花と緑の小須戸町にふさわしい鉢花(アザレア)のお楽しみ抽せん会でプレゼントをおこない盛会の内にチャレンジを終わることが出来ました。これもひとえに中央公民館、文化協会のお力添えとこの紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



『95社交ダンスパーティー大盛況』  
 社交ダンスパーティーが小須戸町中央公民館、主権小須戸町中央公民館、小須戸町文化協会のご後援をいただき、去る十二月十七日(日)ふれあい会館で開かれた。すばらしい会場で第十回目を迎えることが出来ました。会場は老若男女を問わず約二〇〇有余名のダンスを愛する同好者が近郷近在(新潟市を初め新潟市、白根市方面等)より集まりスロー、スロー、クイック、クイックとステップも軽やかに楽しく仲良く踊っている様子が伺われ盛況であった。  
 踊りも最高調に楽しかった所でご来賓の中央公民館の岡館長さんより、生涯学習の一環と

### 二月のおもしろ雑学講座

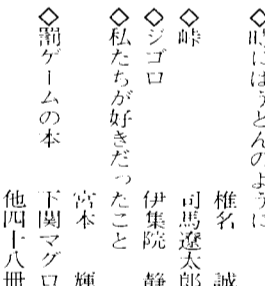
日時 二月九日(金)  
 午後七時三十分から九時  
 会場 中央公民館二階会議室  
 内容 「万葉人の遊び」  
 お話 高橋 登さん  
 (小須戸中学校長)

### 図書だより

- ◆未成年 野島 伸司  
 ◆松本 人志  
 ◆KYOKO 村上 龍  
 ◆この時代の生き方 加藤典洋  
 ◆にいがた弁講座 大田 朋子  
 ◆大変な時代 堺屋 太  
 ◆華の下にて 内田 康夫  
 ◆度目の大往生 永 六輔  
 ◆さういふふうにできている さくらももこ  
 ◆ 沢木耕太郎  
 ◆ 野村 克也  
 ◆ 勝者の資格 五木 寛之  
 ◆ 生きるヒント3 堀場雅夫  
 ◆ イヤならやめろ! 堀場雅夫  
 ◆ サルにもわかるパソコン入門 鈴木 光勇他  
 ◆ 続昭和史のおんな 澤地 久枝

### 「ふれあい会館」

- ◆新鬼平科科帳シリーズ十冊 池波正太郎  
 ◆愛蔵記 新藤 兼人  
 ◆新潟のいじめ克服への叫び 新潟日報事業社  
 ◆親子のマネーレッスン 岩下 宣子  
 ◆これを食べなさい 渡辺 淳  
 ◆アジア太平洋戦争私の遺書 NHK出版編  
 ◆豊臣季吉百一の謎 中江克己  
 ◆時にはどうなのように 椎名 誠  
 ◆時 司馬遼太郎  
 ◆ジゴロ 伊集院 静  
 ◆私たちが好きだったこと 宮本 輝  
 ◆罰ゲームの本 下関マクロ  
 他四十八冊



- ◆リトル・トリート フォレストカーター  
 ◆命者 高橋たか子  
 ◆登校拒否・不登校(中学生) 高垣忠一郎他  
 ◆笑いの絵 齋藤 茂太  
 他二十四冊

### リストアップ

四年前料理教室の試食を終り、これから片づけにかかる時「あ、大きい声出して歌でも歌いたいな」と手を上にあけて背のびをした人がいました。それにヒントを得て、童謡でも歌ったらさぞ楽しいのではないかと、出来た会でした。「もしもしかめよ、かめさんよ」から始まり今ではその時々の歌を楽しく歌っておりまして。特に老人ホームの慰問には喜ばれます。  
 今年も、新潟の「かんばらの里」を慰問しました。裏地で作った紫のロングスカートに、白いブラウスに紫のボアを結んで十七人ステージに上りました。  
 老人の一人から「立派な袴だね」という声が聞こえました。まず「桃太郎さん」から始まり皆さんで手拍子をたたいて、一緒に元気よく歌い出しました。「恋しやふるさと、なつかし父母 夢路にたどるは里の家路」と最後の「旅愁」の歌になると

### 「幼老園をぜひ」

また曇り時々雪の続くいやな冬が来ました。この冬一番困っているのは私たち年長者と孫たち幼児です。畑仕事は休業、散歩もままならず、近くの公園での遊びも出来ず、ストレスがたまり心身ともに不健康になる季節です。  
 ◆役場保健福祉課  
 来年度から冬場十二月から三月まで短時間で結構ですので町部と山ノ手に各一ヶ所、狭くてもよいので町の屋内施設等に若干の遊具を備えて町民に開放していただきたく、どうしても無理なら最低保育園を土曜の午後と日曜日を使用させていただけないでしょうか。

### 文芸欄

- 柳 この町も住めば都の道路網 栗原ひさし  
 恋慕う素敵な人はどこに居る 松沢キヨ  
 この町に素敵な花木土堤桜 増井都留  
 この話素直になれて同居する 藤井春江
- 川 ひとすじの夢のふくらむ思いにて蒔 大森美恵子  
 耀よう弥彦嶺みつむ  
 飲み干せばまたつぎてやる茶碗あり 長井利恵子  
 何げなく過ぐ宵に春待つ 本多玲子  
 越に住む宿命なるか地にひびく雷鳴 野保怜子  
 共に雪は降り来る  
 手応はずしりと土の中にあり梅雨  
 晴れ待ちのじやが芋畑
- 歌 麗はしき増せる金寿の賀状かな 荒木愛子  
 浅れ陽受け錦織りなす夕紅葉 村木リツ  
 秋のくれ路地にらくがき残りけり 藤井れい  
 落葉降る中を歩みぬ常夜燈 花沢いせ子  
 通草蔓ひき山裾をゆすりけり 間島秀穂  
 兼掛丹や祝福と言ふ花言葉 佐久間又子  
 大根干す一束五本によるめきぬ 吉田ミナ  
 秋光の列車食欲を充たし 吉田素茶
- 俳句